

あなたも俳句名人! キ・ターレ

小学生から大人まで
だれでも参加OK

キ・ターレ
親子でいっしょ
やってみよう

親子俳句教室

参加者募集!



五七五…世界でもっともみじかい詩といわれる俳句
テレビ「フシバト」でもおなじみの「俳句」…みなさんに
俳句のたのしさを知ってもらおうと企画しました

日時…7月27日(土) 14:00~15:30

場所…北守谷児童センター 視聴覚室

参加…小学生から大人まで 年齢を問いません
親子でもぜひ参加してください

費用…無料

持ち物…筆記用具

講師…川村学園女子大学 教育学部

横山悦子 教授

(横山先生は国語の教育だけでなく「魔女えほんシリーズ」
など児童文学者としても活躍されています)

申し込み方法…①キ・ターレHPの申し込みQRコードまたはこちら

②電話申し込み 45-2278

(申し込み 6月10日~7月25日まで)



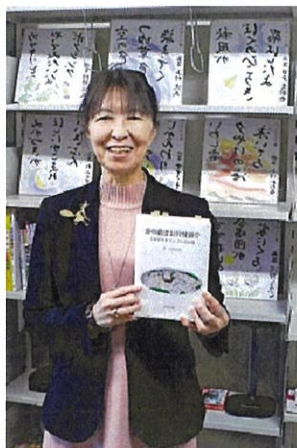
問合せ…北守谷児童センター(キ・ターレ)

☎ 0297-45-2278

8月19日は俳句の日



小学生の感性俳句で育む 我孫子の元校長 3年の成果一冊に



川村学園女子大教育学部教授の横山悦子さん(62)が、2018年4月から21年3月まで校長を務めた我孫子市立新木小学校で続けた俳句教育の成果を本にまとめた。タイトルは「学校経営は想像の泉 俳句をつくって未来を拓く」。児童の感性を磨こうと作句に力を入れた3年間の思い起こし、子どもの成長を実感したエピソードをしたためている。(木村透)

横山さんは小学校の教壇に立ちながら、児童文学者としても活動してきた。31歳の時から「橋立悦子」のペンネームで執筆し、「詩集」や「魔女えほんシリーズ」などを手がけた。今作は63冊目の著書で、学校経営に関する初めての本になったという。

新木小の校長に就任した時、低学年でも取り組み、特別な道具を必要としない「俳句」を教育の柱に据えた。「俳句で児童の感性を磨く」を合言葉に、月に1度俳句コンクールを実施。新木小の校長に就任した時、低学年でも取り組み、特別な道具を必要としない「俳句」を教育の柱に据えた。「俳句で児童の感性を磨く」を合言葉に、月に1度俳句コンクールを実施。入賞者を全校朝会で表彰し、学校便りに掲載して保護者と地域に発信した。コンクールにしたのは、「達成感を得た時、『自分は案外すごい』と心の中に眠る無限の可能性に気づくから」と、横山さんは説明する最高の賞は、学校のシンボルにちなんで「ヤエザクラ賞」と名付け、審査は俳人でもある恩師に頼んだ。1年目は124句だったヤエザクラ賞は、2年目は240句、3年目は307句へと増えた。「数の増加は上達の証しと言える」と振り返る。俳句教育に取り組む中で気づいたこともある。運動会や夏休みなどの後に受賞作品が増えることだ。感動体験がよい句を生むという好循環が生まれていた。3年目は、コロナ禍で休校を余儀なくされた。それでも、児童の作句意欲は衰えず、逆に普段の生活に幸せがあることを俳句で表現できるようになったという。横山さんは「五・七・五というたった17音だが、言葉の力を感じた」と俳句の魅力を再認識した。「NHK全国俳句大会ジュニアの部・学校優秀賞」や「きごさい全国小中学生俳句大会・学校賞」といった大きな賞にも輝いた。横山さんは「子どもたちは俳句づくりを通じて、自然の美しさや人の優しさに気づき、大きく成長した。そのことを広く知ってもらいたい」と話している。ヤエザクラ賞671句が全て掲載されている。

【主なヤエザクラ賞作品】

- ・やきいもが にばいおいしい はんぶんこ(1年生)
- ・一ばんに 見つけてふむぞ しもばしら(2年生)
- ・きんもくせい 多めに息すう 通学路(3年生)
- ・山道を でんぐりがえし 松ぼっくり(4年生)
- ・じゆく帰り 満点の日に 流れ星(5年生)
- ・しゃぼんだま 町をのっけて とんでいく(6年生)